

## 【精神疾患教育から始まるこころの健康社会】(南部)

みんなねっと4月号に『高校で始まった精神疾患教育～広がれ「こころの健康社会」』をテーマに、『精神疾患教育から始まるこころの健康社会』と言う記事がありましたので紹介します。

2022年から高校の保健体育で精神疾患についての教育が始まりました。約40年ぶりです。精神疾患は日本では615万人の受診患者で国民の約20人に1人の割合です。疾患による生活の支障を障害生存年数という指標で表すと、精神疾患による影響は、手足や関節の病気に次いで第2位です。

国民病としては医療法における5疾病の一つに定められています。

精神疾患について考える時の鍵は、社会における正しい理解とそれにもとづく取り組みです。メンタルヘルスは本人の自己責任ではなく、社会としての取り組みだからです。ストレスの多い時代にこころを支えあえる地域社会、こころの危機に支援がすぐに届く仕組み、こころを病んでも安心して暮らせる社会、そうした『こころの健康社会』が目標です。

精神疾患教育のポイントの第一は、教育の内容です。それぞれの疾患の知識も大事ですが、精神疾患に共通する特徴を理解して、社会の中での位置づけについての内容が大事です。第二は、教育の目標です。教科として学ぶ内容である以上に、生徒自身の問題です。自分が精神疾患を抱えている、家族が苦勞している、友達のメンタルが気になる、といった時にどうしたらよいか、知識のみでなくて、実際に行動に移せることを目指します。第三は、誰が教えるかです。教科を教えるのは、保健体育の先生ですが、スクールカウンセラーや当事者や家族、支援者からの声を聴ける機会があるとさらに生き生きとした教育となるでしょう。

以上

(川田先生の『リカバリーのための支援とは』は事情により、中止します)

## &lt;賛助会員募集&gt;

こころの病いに苦しむ方々の地域支援を主目的に賛助会員を募集します。その趣旨を下記に説明します。

1. 明石市近郊にてこころの病いに苦しむ方々のために何が出来るかを考え、そのための資金として活用します。使途も明確にします。
2. こころの病いに苦しむ方々への病気に対する知識、リカバリーのための講習会の開催を目指します。
3. 賛助会員になって頂いた方には、明石ともしび会ニュース、総会資料等を配布します。
4. 明石ともしび会ニュースにて賛助会員をご紹介します。
5. 総会にて、賛助会員のご紹介と賛助金の使途について、ご報告致します。

会費納入方法は、同封の手数料無料の郵便局の振込用紙にてお願いします。

口座記号及び口座番号:00980-7-166023



賛助会員:(個人)入会金0円 年会費1,000円・(法人)入会金0円 年会費10,000円

お問い合わせ先 NPO法人明石ともしび会 理事長 南部 和幸

〒673-0871 兵庫県明石市大蔵八幡町7-11

電話番号 078-912-4433 (さくら工房) 携帯電話 070-1345-8997

E-mail sakura\_koubou6687@car.ocn.ne.jp

## 編集後記

NPO法人明石ともしび会が設立されて15年になりますが、初めて事業所のリーダー会議を一か月に一度、全3回実施しました。リーダーが集まり将来の目標を決めてその手立てを協議していく会議のイメージがありましたが、実際は3作業所の各リーダー間の相互理解を深め、法人全体のチームの連携力を熟成させていく会議となりました。意見発表の際、各リーダーたちが通所者、作業所のことを真剣に考えていることを理事長として痛感しました。今後も引き続き全職員の相互理解の会議を継続して計画しています。(南部)